



2011年10月13日発表

東日本大震災 ピースボート災害ボランティア関連情報

東北での課題に向き合い、自然災害への備えを！ 11月、石巻市で『災害ボランティア・リーダートレーニング』を開始。

ー 被災地ボランティアを機能させる人材育成とネットワークづくりをー

この度、(社)ピースボート災害ボランティアセンター(以下、ピースボート)では、11月より、宮城県石巻市での災害ボランティアに向けた人材育成プログラム「災害ボランティア・リーダートレーニング」を開始することを発表いたします。

このプログラムは、専門家や大学、NGO、企業などが共同開発を行っているもので、全国から集まる災害ボランティアを対象に、石巻市で7日間をかけて実施されます。自らもボランティア活動に参加し、トレーナーによる自然災害や救援活動に対する基礎知識や実地研修、ケーススタディ、実践を組み合わせたカリキュラムで構成され、現場での判断力とリーダーシップの養成を目的としています。

その後、認定を受けた「災害ボランティア・リーダー」は、地元や全国の自然災害の現場にいち早く入り、刻一刻と変化する被災地の状況を的確に把握、入れ替わりの激しいボランティアたちをまとめ、安全かつ機能的に現場での指揮をとる人材となります。11月より隔週で実施をはじめ、年間で300人以上を認定、全国的な災害ボランティア人材ネットワークの構築を目指しています。

東日本大震災の被災地3県で活動したボランティアはのべ80万人を越え、自治体、自衛隊、社会福祉協議会などと並んで、支援活動の主要な存在となっています。しかしながら、震災当初は自治体や社会福祉協議会が被災したため、災害ボランティアセンター(社会福祉協議会が運営)とともに、NGO/NPOが積極的にボランティアの受け入れを担いました。最大のボランティア数を受け入れた石巻市では、災害ボランティアセンターを通じて活動した個人ボランティアが約10万人、NGO/NPOを通じて活動した団体ボランティア(石巻災害復興支援協議会に加盟)が約11万人。その大規模な活動を支えたのが、「石巻モデル」と呼ばれる地元組織と支援団体の連携と、現場の災害ボランティア・リーダーの存在でした。

しかしながら、石巻市のような大規模ボランティアの力を上手く活用できた事例はまだ少なく、9月に発生した紀伊半島での台風被害に対するボランティアが圧倒的に足りていないことを見れば、これらの仕組みづくりと人材育成が大きな課題であることは明らかです。

11月の「災害ボランティア・リーダートレーニング」の概要は以下の通りです。今回の震災に学び、次なる災害で被害を最小限にするための取り組みが必要です。プログラムに関する取材・報道などご検討のほど、よろしくお願いいたします。

■ 11月 ピースボート『災害ボランティア・リーダートレーニング』スケジュール

- 【第一期】 2011年11月5日(土)～11月12日(土)
- 【第二期】 2011年11月19日(土)～11月26日(土) ※12月以降のスケジュールは後日ホームページで発表
- 【定員】 各回20名
- 【受講料】 第一期、第二期は無料実施
- 【実施場所】 宮城県石巻市のボランティア施設、市内活動地区
- 【参加資格】 原則2日以上ピースボート災害ボランティア活動経験がある方、もしくはこれから参加する方
- 【カリキュラム】 7日間 レクチャー、実地研修、ワークショップ、現場リーダーサポートなど ※詳細は別紙参照
- 【応募方法】 要 事前申し込み
(社)ピースボート災害ボランティアセンター TEL. 03-3363-7967(10時～19時/日祝定休)

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター

TEL:03-3363-7967 FAX:03-3362-6073 MAIL:kyuen@pbv.or.jp